

北海道7国立大学の運営費交付金推移とシーリング試算による影響

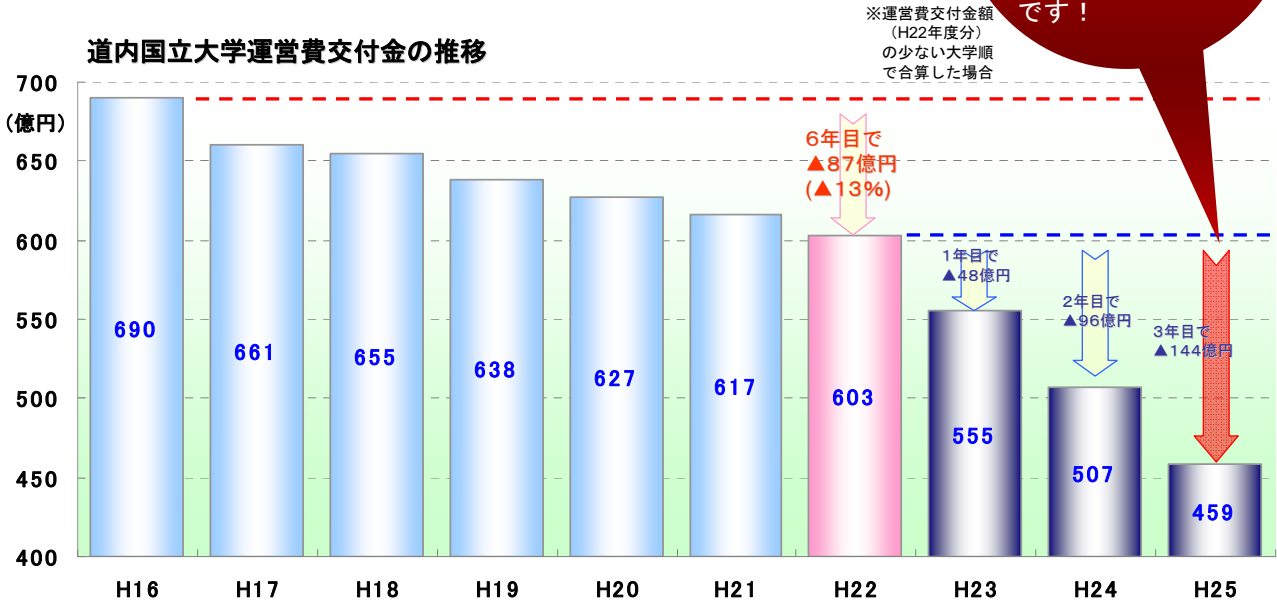
平成23年度以降の3年間、シーリング試算に基づき年8%の削減率を課された場合、機械的に算出すると、**道内7大学の運営費交付金は3年目には144億円の減額**となります。

平成16年度の法人化後、6年目に当たる平成22年度運営費交付金は、対平成16年度比87億円の減額（▲13%）となっています。

この上、3年後で144億円の減額が課されると、法人化後の9年で対平成16年度比231億円の減額（▲33%）となります。

**3年目で
144億減**

※3年目の削減額で道内国立大学5校分が消えてしまう計算です！



※国立大学運営費交付金とは国立大学運営のために政府が各国立大学へ交付するお金です。

北海道の国立大学は道内の知的・人材資源の拠点

これ以上の運営費交付金の削減は致命的!

